

投稿年月日	令和2年4月10日	投稿者	市内在住 70代 男性
ご意見・ご提案 内 容	<p>【高速ブロードバンドの整備は】</p> <p>高速ブロードバンドの整備は、高度情報化社会が実現した今日では、市政の最重要課題だと思います。松本市長自身も市議会議員の時代から強い関心をもって、その必要性を訴え平成24年3月定例議会だと思いますが、一般質問の最初の項目として「高速情報回線（超高速ブロードバンド）導入で地域活性化を」と、当時に藤原市長に実現を迫られたと記憶しております（参考：南島原市議会だよりNO24）。ところが南島原市の状況は、当時NTT自身が整備した地域以外の町、南有馬町・北有馬町は未だに未整備であり、現状はADSL回線でのサービスでのみです。しかし、ADSL回線も2024年3月にはサービス終了となります（一部で存続あり）。今や時代は第4世代（4G）から第五世代（5G）に向かって進んでおります。このままの状態を放置すれば、既整備地域（6町）と未整備の南有馬町・北有馬町との情報格差は極めて大きくなり、合併時の基本理念である「8町の均衡ある発展」は実現不可能です。また、総務省の統計によると、平成29年度現在、光回線の普及率は99%に達しております。従いまして、国が推進する「高度情報化社会」実現のための施策は「光回線」を前提としたもので、未整備の地域は切り捨てられることなるのは必然です。市長ご自身も市議会議員時代から「高速ブロードバンドの整備」の必要性は十分に認識されておりますので「8町の均衡ある発展」の為、課題も多いとは思いますが早期整備をお願いします。特に高齢者には時間的余裕もありませんので早急をお願いしたい。そこで、南島原市の現在の取り組みの状況、及びサービスの開始時期について、お知らせ頂ければ幸いです。また、雲仙市では既に予算化して事業を開始したと聴いております。</p>		
回 答	<p>通信事業者に対して光回線の整備について働きかけをしてきましたが、費用対効果が見込めないということで、整備については、自治体による費用の投入が必要だという最終的な回答が出ました。それに伴い、本市が公費を投入する額を見積もったところ、北有馬・南有馬をはじめ光回線が整備していない市内全域にかかる費用は、10億円近い費用が必要という結果となりました。現在、総務省の補助金を利用するための準備と過疎債を利用するのに必要な過疎計画の見直しを行っており、市の事業として実際に事業に取り掛かるのは、早くても令和3年度から4年度になる予定です。</p> <p>なお、南有馬町・北有馬町の各小中学校につきましては、市のインターネット回線（光回線）を合併時から提供しております。</p>		
担当課	防災課		